



プロジェクトニュース



シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

「一大イベント! 地方自治体開発フォーラムの運営改善」号

2017年5月9日号 (Vol.40)

本プロジェクトでは、地域開発の手順および地方自治体議員や関係者の役割などを明記した「県・村落開発ハンドブック」を作成しています。本プロジェクトでは、日本人専門家が助言しつつ、ハンドブックに記載された関係者の役割に沿って地域開発の活動を行っています。パイロットプロジェクトを実施していく中で、新たに得る知見もあります。現在、地方自治体開発省（以下、本省）が主体となって新たな知見・教訓を、ハンドブックに反映させた改訂作業を進めています。

本省は、現場で得た知見・教訓を他の地方自治体に普及するため、年に1回地方自治体開発フォーラムを主催し、本プロジェクトの進捗や「県・村落開発ハンドブック」について議論し、地域開発の現場で得た知見・教訓の普及を推進しています。

さて、そんな年一度の一大イベントであるフォーラムですが、今年は、3月6日に行われました。全ての計画・準備・運営は、本省が行います。今回の一連の作業は次官と副次官を中心に進められました。会場の確保、招聘する人数の決定、資材の購入など計画・準備作業はたくさんあります。しかしながら、必要経費を決定した後も、副次官や他の職員は「やっぱりこの費用も追加したい!」「この人も招待したい!」と計画をすぐに変更しようとしみます。その度に、活動には予算があるため、思いつくままに計画の変更はできないこと、計画は綿密に立てないといけないことを繰り返し説明しました。予算は有限であるという意識が必要です。改善点もいくつかありましたが、当日は、100名強程度のほぼ全県からの参加があり、本省がオーナーシップをとって、運営することができた非常に価値あるフォーラムになりました。過去数回、フォーラムを行っていますが、今回は過去の経験を元に本省が計画・準備・運営の全てを行ったところに、プロジェクトの成果がみられました。専門家自身もこのように、カウンターパートの能力強化が実感できると、このプロジェクトに携わっていてよかった!という気持ちになります。一年後のフォーラムが楽しみにになりました。



フォーラム 開会式の様子



フォーラムの参加者



フォーラム カウンターパートによる活動の報告



フォーラム ハンドブックに関するグループワークの様子